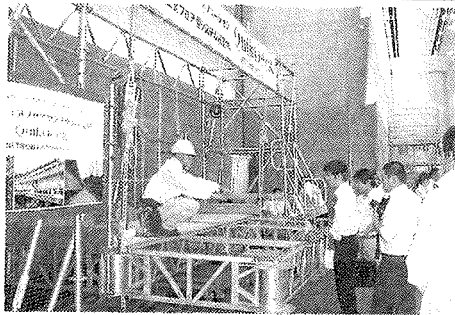


# 建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社  
〒101-0054  
東京都千代田区神田錦町3-13-7  
電話(03)3259-8711  
FAX(03)3259-8730  
©日刊建設通信新聞社 2015

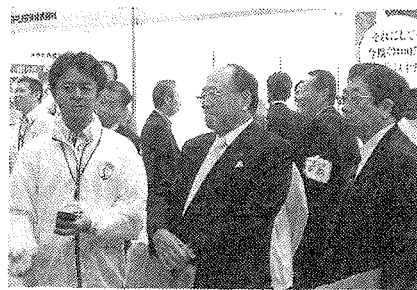


日綜産業は10、11の両日、大阪国際会議場で開催された「第52回全国建設業労働災害防止大会inおおさか」で、昨年6月に発売開始した先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」を初出

## クイックデッキ初出展

### 防災全国大会で日綜産業 公共工事に市場拡大

銭高一善会長も訪れ、同デッキの機能を付加した手すりキの説明に聞き入っていた。クイックデッキは、簡易な組み立てや、最大積載荷重1平方メートルあたり350キ、最大吊りチェーンピッチ5桁×5桁という高いシステム強度、



説明を聞く銭高会長(中央)

「昨年6月の発売以来、当初計画を大きく上回る高い評価を得ている。納入・稼働中の現場は60件で、計画や引き合い案件の累計も100件を超えている」(鈴木正人執行取締役クイックデッキ事業部長)。作業の安全確保に加え、

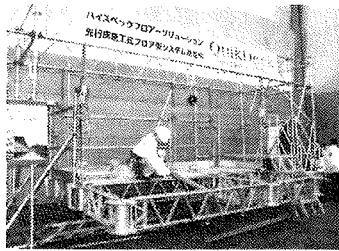
機能性や施工性など従来製品を上回る特性、建設技能労働者不足に威力を発揮することが好調の要因となっている。納入現場は大型ショッピングモールや航空機組立工場、精密機械工場の天井改修、新幹線高架の改修工事など多岐にわたる。「工場では稼働させながら天井改修ができることが発注者に評価されている」(同)。日綜産業では、5月に東北地方整備局で新技術情報提供システム(NETIS)に登録が完了したことから、メンテナンス時代に向けて橋梁やホール施設などの点検・補修など公共工事に市場の拡大を図っている。

# 日刊建設工業新聞

9月14日

月曜日

第18783号



クイックデッキを  
日綜産業が初出展  
被災防金園大会で

日綜産業は、10～11日  
に大阪市内で開かれた  
「第52回全国建設業労働  
災害防止大会」(主催  
建設業労働災害防止協会  
など)の展示会に、先行  
床施工式フロア型システ  
ムつり足場「クイックデ  
ッキ」を初出展した。写  
真。少人数・短工期で安  
全な高所作業空間を構築

クイックデッキは、ト  
ラス構造のジョイスト  
(主梁)と専用の高強度  
チェーン、木・アルミ製  
床板、孫梁、幅木などの部  
材で構成するつり足場。  
足場の専門工がない米  
国で生まれた技術をベ  
ルギー、手すりや支柱とい  
った同社の「3Sシステ  
ム」の機能を付加した独  
自モデルとして改良し、  
14年6月に発売。今年5  
月には国土交通省の新技  
術情報提供システム(N  
ETIS)に登録した。

できるのが特長で、橋梁  
や大空間建築の点検・補  
修などにも適しているとい  
う。展示会ではユニッ  
ト開閉のデモンストレー  
ションを中心に、作業性  
や安全性などをPRし  
た。

同製品は、地上で組み  
立て、つり下げた最初の  
ユニットの端部に次のユ  
ニットを連結・展開し、  
床板を貼る形で増設して  
いく先行床施工方式で、  
最大積載荷重は1平方  
350㎡。さらに2・5  
四方のユニットを組み  
合わせることで段差・す  
き間のない広大な作業空  
間が構築でき、つり元の  
数も少ないのが特長で、  
最大12・5桁×7・5桁  
の床ユニットを4点でつ  
り下げることができる。

同製品については、販  
売・レンタルの開始後、  
これまでに100件を超  
える引き合いがあり、現  
在は60現場で採用。その  
多くはショッピングモ  
ールや工場、競技施設など  
大空間建築の天井工事で

鉄道高架橋の改修、道路  
橋の維持補修などで、特  
に工場改修では製造ライ  
ンを稼働させながら施工  
できる点が評価されたほ  
か、橋梁の定期点検が課  
題となっている自治体の  
関心も高いという。

同社によると、現在の  
保有台数は約10万平方  
分で、本年度中に20万平  
方分の保有を目標に製造  
を進めている段階。鈴木  
正人執行取締役クイック  
デッキ事業部長は「つり  
足場が組める熟練のどび  
工は少なくなっており、  
今後減っていくことが  
見込まれている。今回の  
展示会を通じて関西地区  
のインフラ整備やメンテ  
ナンスに幅広く採用して  
もらえることを期待して  
いる」と話している。

同製品は、地上で組み  
立て、つり下げた最初の  
ユニットの端部に次のユ  
ニットを連結・展開し、  
床板を貼る形で増設して  
いく先行床施工方式で、  
最大積載荷重は1平方  
350㎡。さらに2・5  
四方のユニットを組み  
合わせることで段差・す  
き間のない広大な作業空  
間が構築でき、つり元の  
数も少ないのが特長で、  
最大12・5桁×7・5桁  
の床ユニットを4点でつ  
り下げることができる。

同製品については、販  
売・レンタルの開始後、  
これまでに100件を超  
える引き合いがあり、現  
在は60現場で採用。その  
多くはショッピングモ  
ールや工場、競技施設など  
大空間建築の天井工事で

同社によると、現在の  
保有台数は約10万平方  
分で、本年度中に20万平  
方分の保有を目標に製造  
を進めている段階。鈴木  
正人執行取締役クイック  
デッキ事業部長は「つり  
足場が組める熟練のどび  
工は少なくなっており、  
今後減っていくことが  
見込まれている。今回の  
展示会を通じて関西地区  
のインフラ整備やメンテ  
ナンスに幅広く採用して  
もらえることを期待して  
いる」と話している。

同製品は、地上で組み  
立て、つり下げた最初の  
ユニットの端部に次のユ  
ニットを連結・展開し、  
床板を貼る形で増設して  
いく先行床施工方式で、  
最大積載荷重は1平方  
350㎡。さらに2・5  
四方のユニットを組み  
合わせることで段差・す  
き間のない広大な作業空  
間が構築でき、つり元の  
数も少ないのが特長で、  
最大12・5桁×7・5桁  
の床ユニットを4点でつ  
り下げることができる。

同製品は、地上で組み  
立て、つり下げた最初の  
ユニットの端部に次のユ  
ニットを連結・展開し、  
床板を貼る形で増設して  
いく先行床施工方式で、  
最大積載荷重は1平方  
350㎡。さらに2・5  
四方のユニットを組み  
合わせることで段差・す  
き間のない広大な作業空  
間が構築でき、つり元の  
数も少ないのが特長で、  
最大12・5桁×7・5桁  
の床ユニットを4点でつ  
り下げることができる。

同製品は、地上で組み  
立て、つり下げた最初の  
ユニットの端部に次のユ  
ニットを連結・展開し、  
床板を貼る形で増設して  
いく先行床施工方式で、  
最大積載荷重は1平方  
350㎡。さらに2・5  
四方のユニットを組み  
合わせることで段差・す  
き間のない広大な作業空  
間が構築でき、つり元の  
数も少ないのが特長で、  
最大12・5桁×7・5桁  
の床ユニットを4点でつ  
り下げることができる。

同製品は、地上で組み  
立て、つり下げた最初の  
ユニットの端部に次のユ  
ニットを連結・展開し、  
床板を貼る形で増設して  
いく先行床施工方式で、  
最大積載荷重は1平方  
350㎡。さらに2・5  
四方のユニットを組み  
合わせることで段差・す  
き間のない広大な作業空  
間が構築でき、つり元の  
数も少ないのが特長で、  
最大12・5桁×7・5桁  
の床ユニットを4点でつ  
り下げることができる。

同製品は、地上で組み  
立て、つり下げた最初の  
ユニットの端部に次のユ  
ニットを連結・展開し、  
床板を貼る形で増設して  
いく先行床施工方式で、  
最大積載荷重は1平方  
350㎡。さらに2・5  
四方のユニットを組み  
合わせることで段差・す  
き間のない広大な作業空  
間が構築でき、つり元の  
数も少ないのが特長で、  
最大12・5桁×7・5桁  
の床ユニットを4点でつ  
り下げることができる。

同製品は、地上で組み  
立て、つり下げた最初の  
ユニットの端部に次のユ  
ニットを連結・展開し、  
床板を貼る形で増設して  
いく先行床施工方式で、  
最大積載荷重は1平方  
350㎡。さらに2・5  
四方のユニットを組み  
合わせることで段差・す  
き間のない広大な作業空  
間が構築でき、つり元の  
数も少ないのが特長で、  
最大12・5桁×7・5桁  
の床ユニットを4点でつ  
り下げることができる。

同製品は、地上で組み  
立て、つり下げた最初の  
ユニットの端部に次のユ  
ニットを連結・展開し、  
床板を貼る形で増設して  
いく先行床施工方式で、  
最大積載荷重は1平方  
350㎡。さらに2・5  
四方のユニットを組み  
合わせることで段差・す  
き間のない広大な作業空  
間が構築でき、つり元の  
数も少ないのが特長で、  
最大12・5桁×7・5桁  
の床ユニットを4点でつ  
り下げることができる。

### 産業 日線 クイックデッキ出展 建設業防災防止大会に

日線産業(本社||東京  
都中央区、小野大社  
長)は10日、大阪国際  
会議場で開催中の第52  
回全国建設業労働災害  
防止大会・協進会展示  
会に、昨年6月に販売  
を開始した「先行床施  
工式フロア型システム  
吊足場(クイックデッ  
キ)」を出展した。同製  
品の販売は好調で、現  
在60の現場で採用され  
ている。

クイックデッキは高  
所での足場の拡張作業  
を身を乗り出すことな  
く安全に簡易に行い、

段差や隙間がない足場  
を構成、安全性の向上  
や工期の短縮などに寄  
与する。建築物や橋梁  
などさまざまな現場で  
採用され、計画・引き  
合いの累計は100件  
を超過。6月には東北



展示会会場で作業実演

の展示会で  
出展し、東  
北の20の現  
場から引き  
合いが来て  
いるとい  
う。  
製造は茨  
城と滋賀の  
両工場で行  
われてお  
り、同社で  
は製造、販  
売のほか、

工事会社20社と提携し  
て工事も扱っている。  
また、西工場にはトレ  
ーニングセンターを設  
置し、提携会社作業員  
の技術向上に努めてい  
る。さらに、5月12日

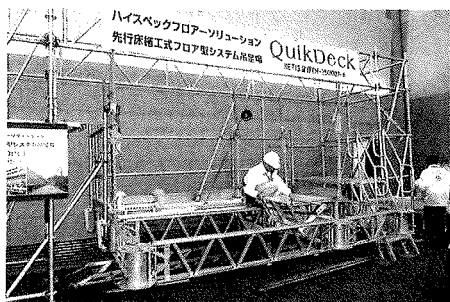
には東北地方整備局で  
新技術情報提供システ  
ム(NETIS)への  
登録が完了するなど、  
販売体制の強化に努め  
ており、今後増加が  
予測される建築物や橋  
梁のメンテナンス需要  
をとらえるべく取り組  
む方針。  
今後、10月に名古屋、  
11月に千葉の幕張でそ  
れぞれ展示会出展を予  
定している。

鋼構造・プロジェクト産業・非破壊  
エンジニアリング・建材・防食 専門紙

# 週刊 鋼構造ジャーナル

2015  
9/21 NO. 1736

週刊(毎週月曜日発行) 購読料:1ヵ年19,500円、6ヵ月27,000円(税・送料とも) 昭和55年9月26日第3種郵便物認可/発行所:株式会社 鋼構造出版/発行人:田中正幸 編集人:大熊修/本社:東京都港区日本橋茅場町2-2-2 三忠ビル5階 〒103-0025 電話:東京03(5642)7011(代表) F A X 03(5642)7077 /大阪支社:大阪市西区西本町1-14-3 本町コスモビル 〒550-0605 電話06(6836)2601(代表) F A X 06(6536)7603 /札幌支局:札幌市白石区北郷4条3丁目2-21 〒003-0834 電話011(879)7666 F A X 011(873)5636 /横浜銀行口座:みずほ銀行横浜支店024-1044873 郵便振替口座 東京00130-9-13713



「クイックデッキ」の施工デモンストレーションを実施

「クイックデッキ」の施工デモンストレーションを実施  
ハイスペックフロアソリューション  
先行床橋工式フロアシステム用足場  
QuikDeck  
NETS 2015-2016

おもな特徴として①基本部材をシステム化し、簡易な組立て②トラス構造のジョイントや高強度チェーンによる高いシステム強度③水平旋回式の組立によるスピーディーな施工(工期を半分、4分の1に縮減)④快適な作

業空間の提供などのほか、簡易組み立て用足場やオプションパーツもある。  
昨年6月の発表からこれまでに納入、稼働中の現場は60件、計画や引き合いは100件以上。大型商業施設や工場の天井工事・改修、新幹線高架の改修工事のほか、吊り天井耐震改修工事用足場として複数の小中学校でも採用されている。  
今回は西日本地区での初出展だが、今後、各種公共施設や橋梁などの改修やインフラメンテナンスの増加を見込み、その作業の安全性向上を提案していく。

業労働災害防止大会 in 大阪」の推進展示会に吊り足場「クイックデッキ」を出展、実物展示と施工デモンストレーションを実施し、安全・安心な作業をPRした。

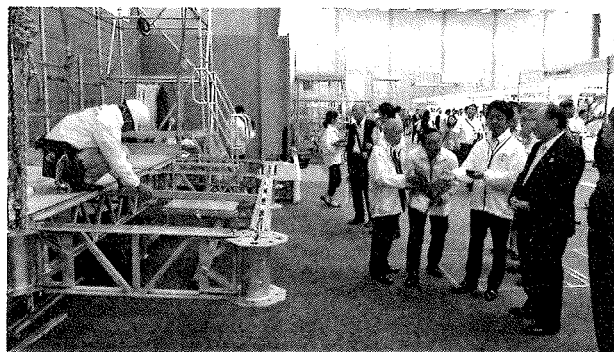
日本仕様に改良したもの。具体的には同社の3Sシステムの機能を付加した手すりや支柱、床材のたわみを防止する孫梁やアルミ製の庄板、オリジナルL型幅木などを組み込み、同社モデルとして販売・レンタルしている。

日綜産業 同足場は、ジョイント(主梁)、連結ノード、デッキパネル、吊チェーンなどから構成された吊り足場で常に床を先行して設置する「先行床施工方式フロア型システム吊り足場」。

## 「クイックデッキ」を展示 西日本で初出展・PR

日綜産業

日綜産業 (本社・東京都中央区日本橋蛸殻町、小野大社長、03・6891・3246)は10月11日に大阪市北区中之島の大阪国際会議場で開催された「全国建設業労働災害防止大会 in 大阪」の推進展示会に吊り足場「クイックデッキ」を出展、実物展示と施工デモンストレーションを実施し、安全・安心な作業をPRした。



施工実演しながら製品を紹介した

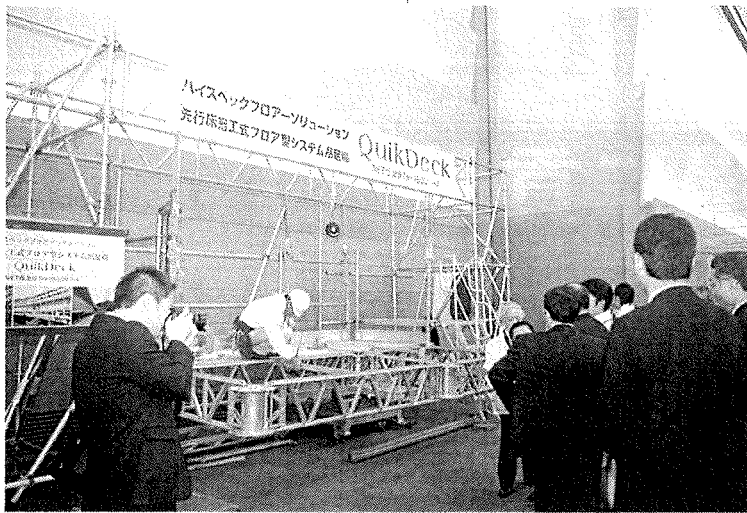


発行所  
日本工業経済新聞社  
〒113-0022  
東京都文京区千駄木3-36-11  
電話 03(3822)9211  
FAX 03(3824)7955  
URL: www.nikoukei.co.jp

支局  
さいたま・水戸・前橋・甲府  
新潟・長野・松本・宇都宮  
千葉・横浜

日綜産業・クイックデッキを展示

抜群の安全性・機能性・施工性



日綜産業(小野大代表取締役社長)は、10日、11日に開かれた建設業労働災害防止協会の第52回全国建設業労働災害防止大会in大阪の展示会に、先行床施工式フロア型システム吊足場「クイックデッキ」を出展し、多くの来場者の注目を集めた(II写真)。

クイックデッキは、国土交通省の新技術情報システム(NETIS)にも登録されている商品。昨年6月の発表以来、好調な出足を見せており、これまでに納入稼働中の現場は60件に上る。計画・引き合い案件の累計も100件を超えた。

クイックデッキの最大の特徴は、床を先行的に施工するため、作業員が身を乗り出すようなことがなく安全性が非常に高い点。また、フロア型の床のため、すき間や段差がなく、施工後は足場上というより、平面の上で作業するイメージに

近く、機能性・施工性に優れる。工期は条件にもよるが、従来型の吊足場に比べて4分の1程度になることもある。少ない人数で、さらに工期短縮が可能で、建設業労働者不足と言われる現在にマッチした吊足場と言える。

これまでの実績としては、橋梁の点検や維持補修、建築物の場合でも新築よりはメンテナンスなどに使用されることが多い。一方で、工場での実績もある。フロア式のため、物が落ちる心配もなく、工場のラインを生かしたまま改修工事ができる点も大きな特徴だ。

現在、駅舎の天井の改修工事も行っている。足場の下を立ち入り禁止にせず、駅利用者が立ち入れる状態のままの作業。今後は、こうした特長を生かして、これまで作業が難しかった吹き抜けのホール天井などでの活用も期待される。